

VISION

FROM FUKAYA, TO JAPAN, TO THE WORLD.

深谷から日本へ、そして世界へ。

SSIPは、渋沢栄一の生誕地・深谷を拠点に、設立当初から国内外の多様な地域や企業、研究・教育機関などと連携を進めます。
それぞれが抱える課題や、持っている技術・知見を持ち寄り、地域や国の違いを越えて、必要とされる解決策をともに考え、実践します。

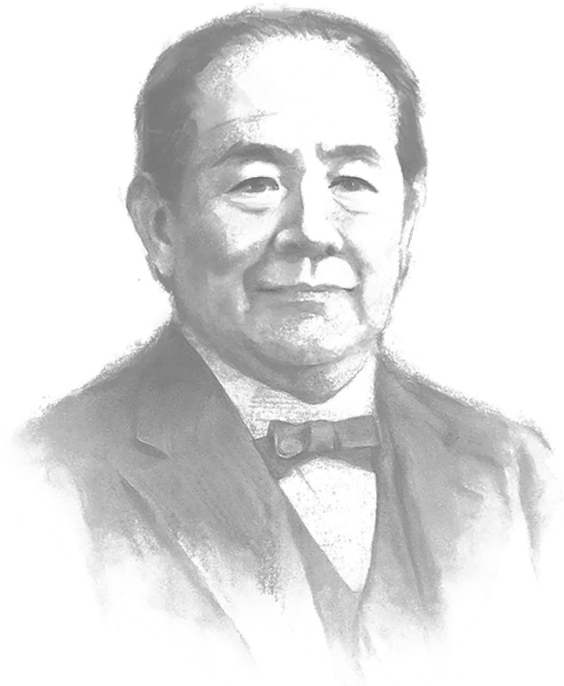
連携を通じて得た知恵を、深谷をはじめとする各地域の次の取り組みや大学の研究・人材育成に生かします。
こうした協働を重ね、研究や技術が、それを必要とする一人ひとりに届き、地域の暮らしや産業の持続的な発展に役立つ社会を目指します。

OUTLINE

センター概要

名称	埼玉工業大学 渋沢栄一イノベーションプロデュースセンター（SSIP）
開設	2026年11月11日
運営	埼玉工業大学・株式会社渋沢栄一学による共同事業
共同センター長	内山 俊一（埼玉工業大学 学長）／金田 隼人（株式会社渋沢栄一学 代表取締役）
組織	渋沢栄一実践知研究ユニット／産官学民連携ユニット／人材育成ユニット／社会実装ユニット
拠点	埼玉工業大学ものづくり研究棟
所在地	〒369-0293 埼玉県深谷市普済寺1690 埼玉工業大学内
交通	JR高崎線「岡部駅」から徒歩約15分（スクールバスあり）
お問い合わせ	ssip_reception@sit.ac.jp

埼玉工業大学
渋沢栄一イノベーション プロデュースセンター
Saitama Insititute of Technology Shibusawa Eiichi Innovation Produce Center



知を、推進力へ。

SAITAMA INSTITUTE OF TECHNOLOGY – SSIP

Shibusawa Eiichi Innovation Produce Center

一人の知が、誰かの知と出会う。研究と技術の可能性が、社会や地域の課題とつながる。
その交わりから、次の一歩が生まれる。その一歩から、大きな前進が始まる。

01 ABOUT

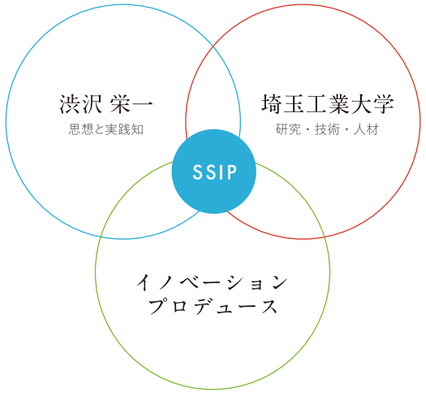
知と志を結ぶ、共創拠点。

渋沢栄一 × イノベーションプロデュース × 埼玉工業大学

埼玉工業大学 渋沢栄一イノベーションプロデュースセンター（SSIP）は、埼玉工業大学と株式会社渋沢栄一学が共同で設立する、人材育成と多様な共創の拠点です。

AIをはじめとする技術が急速に進化する今、研究や技術を、社会や地域が必要とする価値に結び付ける力が求められています。工学と人間社会の両分野で教育と研究を重ねてきた埼玉工業大学には、技術の可能性と、それを使う人や社会が何を必要としているかを、同じ場で考えられる基盤があります。

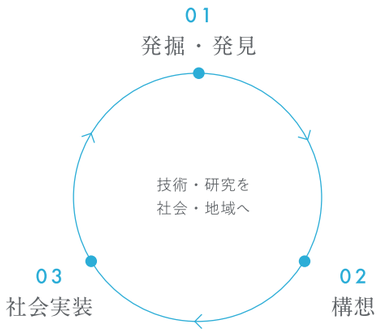
SSIPは、この基盤に渋沢栄一の思想と精神を重ね、企業、行政、地域の人々が課題や技術、経験を持ち寄る共創の場をつくります。研究成果や技術の社会実装を進めるとともに、学生と社会人を対象に、誰のどんな課題に役立つのかを見極め、仲間を集め、構想を形にするイノベーションプロデューサーを育てます。



02 INNOVATION PRODUCE

イノベーションプロデュースとは

技術や製品の強みを見極め、市場や地域のニーズと結び付ける。目指す姿を描いて戦略を立て、人材・技術・資金を集め、必要に応じて知的財産の活用やルールづくり、ブランディングにも関わる。挑戦する人とともに当事者の一人として、事業や仕組みが社会で使われるまで推し進めること。
それが「イノベーションプロデュース」です。



03 SHIBUSAWA EIICHI

渋沢栄一は、近代日本のイノベーションプロデューサー

渋沢栄一は、約500社の設立や育成に関わり、教育や社会福祉、民間外交など約600に及ぶ社会公共事業にも力を尽くしました。
その広がりを支えたのは、人の志を受け止め、実現への道筋と仲間をともに見いだす力でした。

挑む人の想いに共感し、構想をともに練る。ふさわしい人を引き合わせ、知恵や資金をつなぎ、志を事業や仕組みへと育てる。
SSIPは、この在り方に現代のイノベーションプロデュースの源流を見いだしています。

道徳経済合一

社会への責任と、
事業の持続性を両立させる

合本主義

志に共感する人が、
知恵や技術、資金を持ち寄る

立志と忠恕

自ら志を立て、
相手の立場を考えて信頼を育てる

04 MESSEGE

共同センター長からのご挨拶



共同センター長
埼玉工業大学 学長

内山 俊一

大学は、教育研究を通じて社会にその成果を発信する責務があります。その意味で、本学が位置する深谷の地に誕生した渋沢栄一翁の企業家精神を受け継ぐべく、教職員及び学生が多様な人々とイノベーションプロデュース活動に挑戦するセンターを立ち上げるのは大変大きな意義があるものと自負しています。



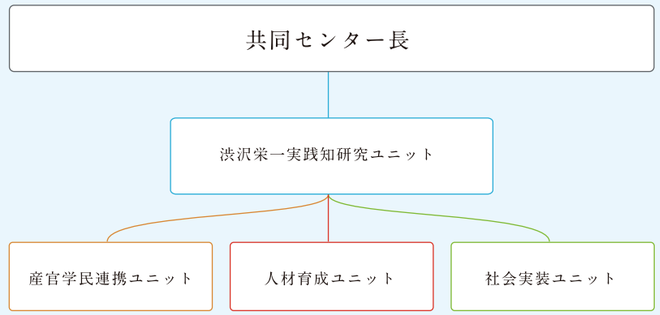
共同センター長　特命教授
株式会社渋沢栄一学 代表取締役

金田 隼人

渋沢栄一が数々の挑戦を通じて示した思想と精神には、いまの社会をよりよくするための知恵があります。私たちはその実践知を受け継ぎ、社会に必要な変化を形にするイノベーションプロデューサーを育てます。多様な方々と知恵や技術を持ち寄り、構想を実際に使われる仕組みへと育て、地域と社会に貢献してまいります。

05 ORGANIZATION

組織体制図



06 UNIT LEADERS



渋沢栄一実践知研究ユニット
金田 隼人
ユニット長
共同センター長／特命教授



産官学民連携ユニット
茂木 勇
学長補佐
人間社会学部情報社会学科教授



人材育成ユニット
西田 優
学長補佐
キャリア支援センター教授



社会実装ユニット
松浦 宏昭
学長補佐
工学部長・工学部生命環境化学科教授

07 ROLE

研究・技術・人材と社会をつなぐ、ふたつの役割

入口	社会の課題を、研究と教育へ	企業や行政、地域から寄せられる課題やニーズを受け止め、解決すべきことを関係者と整理。 大学の知見を生かせる研究や、実践型の学びをテーマにします。
出口	大学の知と技術を、社会へ	大学の研究成果や技術を、企業や地域のニーズと結び付けます。 共同研究や実証を通じて、現場で使える形にしていくための連携を支えます。